



校長室だより

令和2年10月1日(木)

桶川市立桶川西中学校
校長 相澤 仁志

10月(神無月:かんなづき) 「志をもち 自ら学ぶ 健康でたくましい生徒」



10月は旧暦で「神無月(かんなづき)」とも言います。旧暦でこの月は、日本全国の神々が出雲大社に集まり、諸国に神様がいなくなるので、こう呼ばれるようになったと言われています。ちなみに、出雲大社がある出雲の国(現在の島根県)では、「神有月(かみありづき)」と呼ぶそうです。また、神様がいなくなった地方は、留守神様が代わりに守ってくれていたようで、「恵比寿様(えびすさま)」、「金毘羅神(こんびらしん)」、「竈神(かまどしん)」、「道祖神(どうそしん)」などがいたそうです。

10月は、実りの秋。昔からこの時期は、多くの作物を収穫し、八百万(やおよろず)の神々にそのお礼と、来年の更なる実りをお願いするため、秋祭りなどが行われました。我が国日本には、神様のような目に見えない存在にも、感謝の気持ちをもつ心が昔からあったのです。私たち教職員も、無事に学校生活を送れることに感謝の気持ちを持ちながら、今月も引き続き感染症対策等、子供たちの健康管理に気を配りながら西中での教育活動を進めてまいります。



さて、9月は11日午後からの3種目だけのミニ体育祭、24日からの新人戦と、大きな行事がありました。どちらも新型コロナウイルスの感染対策と熱中症対策の二本立て、また密を避けるため、保護者や地域の皆様方の応援のない中での実施となりました。例年と比べると寂しい部分もありましたが、それでも子供たちは、元気一杯楽しそうに頑張っていました。



今3年生は、校長面談を実施しています。西中に赴任した年から毎年この時期に行っており、今年で3年目になります。西中での3年間の教育を修了し、巣立っていく子供たち一人一人を少しでも知りたいという私の思いから始めたものです。毎日6~7名ずつ、1人10分程度の面談で、全部で160名余りの生徒との面談は、去年は11月までかかりましたが、私にとってはとても大切な時間です。面談の内容は、西中での3年間で一番の思い出、クラスや部活での活動について、進路について、残りの中学校生活をどう頑張るのかが中心ですが、それぞれ個性が現れてこれが実に面白い。真面目に硬

い答えに終始する子や、自分の夢を熱く語り始める子、正直(?)に、安定した職に就きたいと話し出す子等々、毎日が新しい発見です。こんなにも個性豊かな子供たちと毎日学校生活を送れる担任や教科担当の教職員をうらやましく思ったりもします。

その面談の中では、ミニ体育祭の話も出るのですが、口々に「楽しかった。」「短かったけれど、その分内容が濃く思い出に残った。」「できないと思ったけれど、やってよかった。」とってきます。コロナ禍の中、子供たちは当たり前の日常が当たり前ではなくなることがあるということ、だからこそ、毎日の生活や行事を大切にしたいということを真剣に考えているようです。これらの言葉に子供たちの成長を感じ、時には頼もしさすら感じたりもしています。



やはり、経験が人を育てるのでしょうか。コロナ禍の中、学校としてできることには限度がありますが、感染症対策をしながら、できるだけ多くの行事を実施したいと思います。そして、子供たちに、多感な中学生のときしかできない様々な経験をさせながら、学校教育目標「志をもち 自ら学ぶ 健康でたくましい生徒」の具現化を目指して参ります。保護者、地域の皆様におかれましては、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

ご協力のお願い



日頃より桶川西中学校の活動を暖かく応援して下さい、ありがとうございます。

「OWSUP!」とは、「桶川西中サポーターズ」の愛称で、本校に昔からある伝統的な「学校応援団」のことです。以前は「おやじの会」と呼んでいましたが、父親だけではなく、母親や地域の方の参加もお願いしたく、「桶川西中サポーターズ(愛称:OWSUP!)」と呼ぶようになりました。2か月に1度程度で、夏場は除草や樹木剪定作業、冬場は施設設備の修繕やベンチづくりなど、また防犯の為に旗設置など幅広く行っています。親睦会も開きながら、無理なく楽しく活動しています。

生徒達の安全で健全な学校活動の為に是非皆様にお力を貸して頂きたく、活動へのご参加をお願い申し上げます。ご協力をご検討して頂ける方は下記へお気軽にご連絡下さい。

桶川西中学校 (OWSUP!) オーサップについてお問い合わせ下さい

(担当: 今井又は教頭) TEL 048-787-1342